

第7回 こにゃん元気市場

問こにゃん元気市場実行委員会事務局

((公社)湖南工業団地協会) ☎75・0200

市内で活躍されている農商工の元気な姿を市内外に発信します。また、優れた技術などの新たなビジネスネットワークの形成を進めることにより、湖南地域の一層の活性化をめざします。

10月28日(日)
午前9時～午後4時30分
※雨天決行

市民産業交流促進施設 「ここぴあ」前

ステージイベント

午前	9時40分～	オープニングアクト ～チアリーディングチーム「ミルキーズ」～
	10時～	開会式&餅まき「元気応援隊」
	10時50分～	チアリーディングチーム「ミルキーズ」
午後	11時40分～	お楽しみ元気抽選会 (本部にて抽選券配布 9時50分～【先着500人】)
	1時～	腹話術パフォーマー「ニッシャン堂」
	1時50分～	餅まき「元気応援隊」
	2時30分～	アカペラグループ「Bless」
	3時20分～	よさこいチーム「KOUGA 彩風舞人」
	4時～	お楽しみ元気抽選会 (本部にて抽選券配布 3時10分～【先着500人】)



すっぽんスープ ふるまい

午後3時30分～

協力：やまりゅう

屋内イベント

- ・ものづくり教室
- ・マグロの解体ショー&直売(午後1時～)

屋外イベント

- ・子ども免許証コーナー(先着200人)
- ・白バイ・パトカー展示
- ・ふわふわバルーン(15分 200円)

※ステージイベントは都合により時間に変更になる場合があります。また屋外イベントも天候により中止になる場合があります。

今年、昭和43年9月18日にわが国障がい者福祉の父・糸賀一雄が急逝して50年です。先月19日には湖南市石部が丘の大木会で「糸賀一雄先生没後50年追悼のつどい」が開かれました。

糸賀は、終戦後の混乱のただなかにあつた昭和21年に、緊急援護としての戦災孤児と戦前から細々と続く知的障がい児の保護のため近江学園を創設しました。

その翌22年には児童福祉法が制定されました。糸賀は、対象が児童であることで児童福祉は他の福祉とは異なる、と主張しました。「児童の権利については、児童自身の自己主張をここで期待することができないのである」と。

そして、どの子ども「すべてのひとがひとと生まれてひととなる」という、万人に共通な発達の道行きを歩む」としたうえ



で、教育や施設の福祉対策が社会に有用な者になるためだけであつてはならないとします。

それは、「どんな障害者をも含めて、万人がめいめい、この社会に生きて、その中で自己を実現していく」のであつて、「その自己実現を尊重し、必要があれば援護していく」という社会の態勢が確立しなければならぬ」としました。

糸賀は、こうした発達保障の考え方について、重症心身障害児に接しながら、「この子らはどんなに重い障害をもつていても、だれととりかえることもできない個性的な自己実現をしているものなのである」とし、「その自己実現こそが創造であり、生産である」と発見しました。

ここから、かの有名な言葉が生まれます。それは、「この子らに世の光を」あててやろうというあわれみの政策を求めているのではなく、この子らが自ら輝く素材そのものであるから、いよいよよみがきをかけて輝かそうというのである。「この子らを世の光に」である(『以上『福祉の思想』より)

近江学園は、現在も湖南市東寺から全国の福祉関係者へメールを送り続けています。